



NO.1377

8月7・14日号

発行所

日本共産党

網走市委員会

網走市北八西三

四四三・四四五八

F 四三二・四四五七

コロナ感染拡大

網走市 急増314名

新型コロナウイルスの感染が日本中で拡大しています。道の公表によると網走市の感染者数は、先週は314人となり、10万人あたりでは札幌市以上の感染です。

市はコロナのお知らせ(77号)を発行し、市民に感染対策の協力をよびかけ、4回目のワクチン接種を勧めています。感染拡大により、発熱外来は増えています。各病院と連絡を取りながら対応にあたっているとのこと。又、だ液による抗原定量検査を8月31日まで無料の期間を延長しています。

網走市の感染者数

期間	人数	10万人あたり
7/24～7/30	314名	933人
7/17～7/23	95名	全道726人 札幌市892人
7/10～7/16	13名	

抗原定量検査 (無料)

<検査日> 毎週火、水、木(祝日・祝前日を除く)

*前日までに予約が必要(9～17時)

<検査方法> 唾液による抗原定量検査

*発熱・のどの痛みなどの症状がある方は、できません。

[問い合わせ・申込み] 保健センター ☎43-8450

コロナ感染を防ぐために

政府の感染症対策分科会は、先月、提言を出し、エアロゾル(空気中を浮遊する粒子)を吸い込まないように十分な換気を呼びかけています。

エアロゾル感染を防ぐためには、エアロゾルが充満しないように換気によって防ぎ事に加え、「風下での対策」が重要です。

多くの人が話す場などエアロゾル発生が多いエリアではその近くから排気して、風下の人にエアロゾルが及ばないようにすること(図参照)としています。

エアロゾル感染を防ぐ空気の流れ(新型コロナウイルス感染症対策分科会の提言から)



今こそ憲法を知ろう 檻の中のライオン講演会

今いちばんわかりやすい憲法入門書「檻の中のライオン」を書いた椋大樹弁護士講演会が開かれます。

参加は無料です。

2022.9.23 (金)

15:30～17:30 (15:10開場)

エコセンター2000 大会議室

お子様連れ大歓迎

主催: 平和の願いをあばしりから

お盆 奮闘メモ



今年も8月になり、このところの気温は、昼間気温が高くても朝

晩はひんやりして肌寒い感じがします。短い夏の終わりを感ずるような季節になりました。私は、先月の中旬に新型コロナウイルスに感染し、今は回復し28日から本格的に社会復帰して元気いっぱい動き回っていました。しかし、自宅療養していたことでの後遺症として筋力の低下があります。特に、背筋に疲労感を感じ横になって休憩が必要ですが、基本的に元気に活動を開始しています。

この間、赤旗や民商の会費の集金に伺うと「元氣になつたかい。後遺症ないかい。無理したらダメだよ」など、たくさん励ましを頂きました。みなさんにご迷惑とご心配をおかけしたことに心からお詫びと感謝を申し上げます。これから9月議会に向けての一般質問の準備と決算審査があるので、今から計画を立てて準備に取り掛かります。

村中 駆けつける



日本共産党は国政選挙でジェンダー平等社会を実現をしようと公約に掲げてきました。

企業の男女の賃金格差は正社員の場合、生涯賃金で1億円にもなる日本の現状は非公表でした。公表せよと求めた結果、7月から301人以上の企業は公表が義務化され、一歩前進しました。「女子は弱いから男子は女子に優しく」と小学校の担任の言葉は私の胸に残っています。弱い者いじめは許さないとということにもつながりました。男は強くなくてはならないとも思っていました。

今の日本の学校教育において、「なぜ、いじめはダメなのか」「なぜ、女性は弱い立場なのか」を真剣に考える時間は少ないと思います。勉強も大事ですが、いじめや男女差別があった時にはしっかりと話し合う時間が子ども達には必要だと思います。ジェンダーについて、私はもっと真剣に考えてみたいと思います。

流水

7月の参議院選挙の投票率は52%と低迷が続いています。国民の声は国政に反映することができなくなる。

赤旗日刊紙7月23日付け「土曜日のおむすび」で投票について書かれていました。日本で初めて男子普通選挙が行なわれたのが1928年(S3年)で、それまでは、国税を15円以上納める25歳以上の男子に選挙権は与えられていました。▼筆者は女性参政権運動の歴史について取材する中で、の学びから、参政権を大切にすることを若いひとたちにも伝え続けてきたといえます。▼2016年から、18歳から投票することができるようになりましたが、投票率は上がりません。「選挙に行っても政治は変わらない」という政治不信が根底にあるか・・・▼私は投票所は緊張します。投票所は異空間であり初めて選挙がはじまった頃と、雰囲気はまったく変わっていません。▼初めて投票する人は、「投票所は、小学校やコミセンだけどんな雰囲気か」「何を持っていくべきか」「何を忘れたら」と不安は尽きません。▼ある人は小学校に入學する子と投票に行つた時、子どもが投票箱に触ろうとして、周りの大人がざわつと立ち上り、子どもがびくびくりしたと言います。この場面がトラウマとなり、その子の投票行動に影響したりはしないか? 「投票すること」は大切なことと伝えたい。

すみっこ